

社会資本総合整備計画書
中間評価

平成26年3月
愛知県小牧市

社会資本総合整備計画（市街地整備）

平成26年3月

計画の名称	1 安全・安心で活気に満ちたまちづくり																		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）		交付対象	小牧市															
計画の目標	<p>本計画では、本市の第6次小牧市総合計画において主要課題の一つとして掲げている「暮らしの安全・安心の確保」を進めることを目的とする。とりわけ、本市を南北に縦断する名鉄小牧線の沿線部においては交通利便性を活かした人口定着を図るとともに、市の玄関口である名鉄小牧駅周辺の本市中心市街地での賑わいの創出を図り、コンパクトな都市構造の構築を進めるため、都市基盤整備等による良好な住環境形成と都市機能の集積、向上によるまちの魅力向上を一体的に実施し、安全・安心で活気に満ちたまちの形成を図るものである。</p>																		
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 「小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまち」だと思ふ市民の割合を56.2%（H22）から60.4%（H26）に拡大 名鉄小牧線沿線部における街なか居住率を55.1%（H22）から56.0%（H26）に拡大 中心市街地（名鉄小牧駅周辺）に魅力を感じる市民の割合を19.9%（H22）から19.9%（H26）に現状維持を図る 																		
定量的指標の定義及び算定式				備考															
	<p>「暮らしの安全・安心の確保」に向けた都市基盤整備や各種事業実施の効果を測るため、「小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまち」だと思ふ市民の割合をアンケートの実施により集計する。</p> <p>都市基盤整備等による住環境整備の効果を測るため、名鉄小牧線沿線部のうち事業実施予定箇所周辺（沿線市街地）での居住人口を調査し、本市全体の人口に占める割合を算出する。 (街なか居住率) = (沿線市街地の居住人口) / (本市全体の人口) × 100</p> <p>小牧駅周辺整備の効果を測るため、中心市街地に魅力を感じる市民の割合をアンケートの実施により集計する。</p>			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>56.2%</td> <td>58.0%</td> <td>60.4%</td> </tr> <tr> <td>55.1%</td> <td>55.7%</td> <td>56.0%</td> </tr> <tr> <td>19.9%</td> <td>19.9%</td> <td>19.9%</td> </tr> </tbody> </table>	定量的指標の現況値及び目標値			当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	56.2%	58.0%	60.4%	55.1%	55.7%	56.0%	19.9%	19.9%	19.9%
定量的指標の現況値及び目標値																			
当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)																	
56.2%	58.0%	60.4%																	
55.1%	55.7%	56.0%																	
19.9%	19.9%	19.9%																	
全体事業費	合計 (A+B+C)	7,837.1百万円	A 5,972.2百万円 (うち提案事業分364.3百万円)	B 787.0百万円	C 1,077.9百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C) / (A+B+C)	18.4%												

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
計画所管課（都市政策課）において事業の進捗状況、事業効果の発現状況等を把握した上で、今後の事業方針等について各事業担当課とともに検討を行う。	平成25年度（中間年度の終了後） 公表の方法 市ホームページで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業										上段：計画	下段：実施				
A1 基幹事業										全体事業費 (百万円)		執行率(%)			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	都市再生整備計画	一般	小牧市	直接	小牧市	小牧線沿線地区都市再生整備計画事業	A=955ha 道路、高質空間形成施設、土地区画整理事業等	小牧市						3,817.9	78.8
														3,007.3	
1-A-2	都市再生整備計画	一般	小牧市	直接	小牧市	小牧南地区都市再生整備計画事業	A=113ha 道路、公園、下水道、土地区画整理事業等	小牧市						2,154.3	78.9
														1,698.8	
									計					5,972.2	78.8
														4,706.1	
B 関連社会資本整備事業										全体事業費 (百万円)		執行率(%)			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)						
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-B-1	街路	一般	小牧市	直接	小牧市	小牧岩崎山前地区((都)名古屋犬山線外)	区画整理 A=62.2ha	小牧市						76	100.0
														76	
1-B-2	街路	一般	小牧市	直接	小牧市	小牧南地区((都)外山中央線外)	区画整理 A=94.0ha	小牧市						412	15.5
														64	
1-B-3	街路	一般	小牧市	直接	小牧市	小牧文津地区((都)文津循環1号線外)	区画整理 A=37.6ha	小牧市						299	34.1
														102	
									計					787	30.7
														242	

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
1-B-1	小牧線沿線地区(A-1)と一体的に区画整理地区内の幹線道路の整備を早期に図ることにより、計画目標である安全・安心な市街地の形成が図られるものである。										
1-B-2	小牧南地区 (A-2) と一体的に区画整理地区内の幹線道路の整備を早期に図ることにより、計画目標である安全・安心な市街地の形成が図られるものである。										
1-B-3	小牧線沿線地区(A-1)と一体的に区画整理地区内の幹線道路の整備を早期に図ることにより、計画目標である安全・安心な市街地の形成が図られるものである。										

C 効果促進事業											上段：計画	下段：実施			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	施設整備	一般	小牧市	直接	小牧市	公園整備事業(岩崎原中央公園)	園路、広場等 0.32ha	小牧市						127	100.0
													127		
1-C-2	施設整備	一般	小牧市	直接	小牧市	公園整備事業 (三ッ湖南公園)	園路、広場等 0.31ha	小牧市						196	76.5
													150		
1-C-3	施設整備	一般	小牧市	直接	小牧市	調整池整備事業 ((仮称)8号調整池)	調整池 約3,350㎡	小牧市						48	0.0
													0		
1-C-4	施設整備	一般	小牧市	直接	小牧市	保育園耐震改修事業	小牧市立さくら保育園他	小牧市						117.9	100.0
													117.9		
1-C-5	施設整備	一般	小牧市	直接	小牧市	保育園整備事業	(仮称) 南保育園	小牧市						589	0.0
													0		
計												1,077.9	36.6		
計												394.9			

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考	
1-C-1	基幹事業である「都市再生整備計画事業(A-1)」において防災機能向上に向けた公共施設を整備し、それらと一体的に周辺地域の一時避難場所となる公園を整備することにより、計画目標である安全・安心な市街地の形成を図る。											
1-C-2	基幹事業である「都市再生整備計画事業(A-1)」において防災機能向上に向けた公共施設を整備し、それらと一体的に周辺地域の一時避難場所となる公園を整備することにより、計画目標である安全・安心な市街地の形成を図る。											
1-C-3	基幹事業である「都市再生整備計画事業(A-2)」において防災機能向上に向けた公共施設を整備し、それらと一体的に大雨時に一時的に雨水を貯留する調整池を整備することにより、計画目標である安全・安心な市街地の形成を図る。											
1-C-4	基幹事業である「都市再生整備計画事業(A-1)」において防災機能向上に向けた公共施設を整備し、それらと一体的に子育て支援施設の耐震改修を行うことにより、暮らしの安全・安心の確保を図るものである。											
1-C-5	基幹事業である「都市再生整備計画事業(A-2)」において良好な居住環境形成のための基盤整備を実施し、それらと一体的に子育て支援施設の整備を行うことにより、暮らしの安全・安心の確保を図るものである。											
合計											7,837.1	68.2
合計											5,343.0	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 小牧線沿線地区及び小牧南地区の都市再生整備計画事業の各種事業実施により、良好な住環境形成による人口定着や交通網、交通結節点の整備改善により市民の利便性が向上した。 土地区画整理事業をはじめとした各種の都市基盤整備事業や施設改修事業の実施により、良好な住環境形成、安全・安心な市街地の整備が進み、居住人口の増加や住民や市民の移動の安全性が向上した。 											
II 定量的指標の 達成状況	指標①(「小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまち」だと思ふ市民の割合)	中間目標値	58.0%	目標値と実績値に 差が出た要因	計画途中ではあるものの道路事業や土地区画整理事業による都市基盤整備や既存保育園の耐震改修等の効果や当該計画以外での市の防災や安全・安心への取り組みの効果により、安全・安心満足度は順調に増加していると考えられる。								
		中間実績値	64.7%										
	指標②(名鉄小牧線沿線部における街なか居住率)	中間目標値	55.7%	目標値と実績値に 差が出た要因		少子高齢化が進む中、市全体人口は概ね横ばい傾向であるが、計画途中であるものの鉄道沿線部における土地区画整理事業をはじめとした良好な住環境形成の効果により沿線部での居住人口は増加したため、街なか居住率が順調に増加したと考えられる。							
		中間実績値	56.1%										
	指標③(中心市街地(名鉄小牧駅周辺)に魅力を感じる市民の割合)	中間目標値	19.9%	目標値と実績値に 差が出た要因			一部完了はしたものの計画途中であり、十分な効果発現に至っていない状況であると考えられる。今後も早期の効果発現に向け計画的に事業を実施していく必要がある。						
		中間実績値	19.4%										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)													

3. 特記事項 (今後の方針等)

一部指標については目標値を下回っているものの、安全・安心満足度や街なか居住率については順調に増加している状況である。今後も整備効果を継続して発現させていくため引き続き各種計画事業を計画的に実施していく必要がある。

(参考図面) 市街地整備

